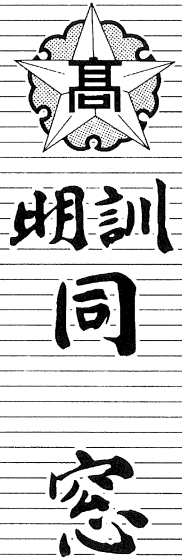


祝 母校創立80周年記念事業 校舎移転新築竣工



発行所
新潟市北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇 夫

- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繋と相互扶助

ご挨拶

— 母校創立八十周年並びに
校舎移転新築竣工を祝して —



同窓会長
渡辺 惇 夫

秋晴れの心地よい季節となりました。同窓会員の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

平素は、同窓会の諸活動をはじめ、母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき衷心より感謝を申し上げます。お陰様で我が同窓会も二万五千有余名の会員を擁し、年々活動実績を積み重ねながらその存在感を増し、母校の発展とともに内外に高い評価を得られるに至りましたことは、我々の大きな喜びであり誇りでもあります。これも偏に、会員皆様の変らぬ母校愛と日頃の精進と努力

の賜ものであるとともに、加えて学校ご当局をはじめ関係者の皆様のご支援とご協力があったことであり、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。これからも我々は母校の建学の精神を大切に、多くの先輩の方々が築き育んできた明訓魂を大切に継承し、同窓会員としての誇りを持ちながら、引きつづき努力邁進していかねばなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正十年の創立以来、実に八十有余年の歴史をきざみ、立派な伝統と実績を積み重ねて発展を遂げてまいりました。このこと自体、我々にとって大きな喜びであります

が、この度更に喜びを大きくしたのはその記念事業として、新潟市の中でも最っとも立地環境の優れた北山の地に校舎ほか全施設が全面的に移転し、新築落成をみたことでもあります。この世紀の大事業とも言える移転事業を成し遂げた学校ご当局をはじめ、多くのご協力をいただきました方々に深甚なる敬意を表するとともに心から感謝を申し上げます。今、新しい時代—二十一世紀の初頭を迎えておりますが、相変らず社会経済情勢は厳しさを増し、激動と変革の中にあります。そのような状況の中でこの大事業が遂行されましたことは、我が母校にとって新しい時代に対応した新生新潟明訓高校として限りなく発展し飛躍する歴史的な大きな第一歩を踏み出すことができたものと確信いたします。

また幸いに我が同窓会には年代を問わず優れた人材も多く、広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この機会に同窓会を含

創立八十周年を祝して



理事長
伴 昭 彦

めて学校関係者が一丸となって新たな新潟明訓高校の歴史を創るために最大限の努力をしていく決意を新たにしております。我々は、限りある人生であります。明訓同窓会と母校新潟明訓高校の存在は永遠であり、そこに培われた伝統と校風もまた永遠不滅であります。その母校に一時代とは言え、ご縁を得た我々同窓会員はこれからも母

校の発展を願い、会員の絆を一層強くするため努力していただく責務があると存じます。何卒よろしくご願ひ申し上げます。

同窓会員の皆様には御元気で経過のこととお喜び申し上げます。

本校は創立以来八十年を数え、記念事業としての校舎移転新築が完成するに至りました。これもひとえに皆様方の御力添えによるものと厚く感謝申し上げます。

この八十年を超える本校の今日あるのは多くの先人の努力の結果によるものであります。殊に故富山虎三郎氏による校舎等の御寄附、検定試験によらずに中学校卒業資格を

与える「指定」を受けるための法定基金を充足させる故新津恒吉氏の御寄附があったことは既に皆様充分御承知のことと思っております。

すが、本校の運営全般についてかかわられ、財団法人として組織化されるとその理事の一員として学校の発展のため努力を傾注されました。ところがあまりにも本校の発展に献身努力を続けられたため遂に病を得て臥床されるに至り、昭和九年八月二十七日、僅か三十五才でこの世を去られたのであります。その教育に関するひたむきな姿勢から病を得て若くして亡くなられたことで、私は宮沢賢治を連想するのであります。宮沢賢治は、死の床にありながら稲作の相談に来られた農民に親切に指導をされ、そして亡くなられたのです。年令もほぼ同じ三十八才でした。このように、自らの命を礎石とされた先人の遺徳の上に本校の今日があるものなのです。今日の本校の基となつてゐるのは本校八十有

余年の歴史の中のお一人お一人の御尽力の積み重ねであることを忘れてはならないと思ひます。

扱て、漸くここに新校舎が完成しました。設備も充実し、広い校地と校舎は県内有数のものであります。その中身はどうか。嘗ての夜間中学校時代には「夜中魂」がありました。今の新潟明訓高等学校の「明訓スピリッツ」(八十年史四百十一頁、芥川賞作家の藤沢周氏特別寄稿)とは、突拍子もないことを考え、行動したりしていながらの中で生徒と教師との間の信頼関係から生まれた「自由」であるといわれまふ。藤沢氏は、「私は明訓高校において、教師から一度も上から物をいわれたことがない。教壇が上がつていようが、帰宅途中一緒になろうが、教え諭すという、ある

種の権力めいた話し方をされたことが皆無だった。」といひ、本気で怒られ、殴られても仲間的な感情のぶつかり合いにも似て、真摯で血が通つていたので我々も納得する、と書いておられます。学校は教科としての知識と共に、社会の基本を身につけるべきところだと思ひます。皆様の御力によつて完成させて頂いた新しい校舎の中身を、より一層充実させたいと念願しております。

待つて、記念式典・祝賀会を行うこととし、このたび挙行する運びとなりました。ここに至るまでの同窓各位の絶えざるご努力ご支援に、心からお礼申し上げます。

八十周年記念事業として建設が進められてきた新校舎は、多くの人々のご協力によつて見事に竣工いたしました。県内随一の広さをもつ敷地に、近代的な施設設備を備えた、明るく、快適な新校舎は、全国のどこに出しても恥ずかしくない、すばらしいものであります。同じ敷地内にグラウンドと校舎を併せ持つのも、本校の歴史始まって以来のことです。夜間、小学校の教室を借りて授業を受けた本校創設期の先輩たちが見たら、一体何と言うでしょうか。

さて、本校の卒業生は、これまで二万五千余名を数え、広く全国各地で、あるいは国際社会の各方面で活躍し、県内ではその中核となつて貢献していることは、誠に喜びにたえないところであります。同窓各位が、本校において、それぞれの時代に貴重な人生の一コマを刻んでこられたご努力、ご苦心に思いを馳せるとともに、日ごろの教育の中で、本校の建学の精神を継承発展させていかなければならないと思つております。

八十有余年の間には、国家や社会のあり方をはじめ、文化の面でも大きな変化が見られ、人々の生き方、考え方も大きく変化してきました。特に、二十一世紀を迎え、科学技術の進歩や国際化・情報化の著しい進展が見られる今日の社会において、どのように生きていくかが、いま私たちに強く問われており、本校においても、このような時代の要請に即応できる人材の育成を目指していかなければならないと考えております。

全国レベルの新校舎の誕生を機に、生徒諸君一人一人が、まさに心機一転、勉学の面でもスポーツの面でも、全国レベルを目指し、それぞれの夢や可能性に向かって積極的にチャレンジしていくことがで

きるよう、教職員一同、思いを一つにして邁進していく所存であります。最後にになりましたが、同窓各位のご健勝とご活躍を祈念

平成15年度

第16回首都圏新潟明訓会総会・

懇親パーティー開催

秋晴れに恵まれた平成15年11月15日(土) 13時より「銀座日航ホテル」に於て、平成15年度首都圏新潟明訓会総会ならびに懇親パーティーが開催されました。

当日は渡辺会長が公務のため欠席され、本部より、児嶋副会長(首都圏新潟明訓会担当)、浮部副会長、時田監事、学校側より瀬下副校長が出席されました。

まず、後藤首都圏会長より「このような盛大な会が出来ればこそ感謝しています。来年度は創立八十周年と新校舎竣工の祝賀で会員一同、楽しみにしています。今後も総会参加者が多くなるよう努力したいと思ひます」との挨拶がありました。次に本部の渡辺会長代理として、児嶋副会長が新潟の総会の様子などを

いたしますとともに、今後とも母校へのご支援ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

報告しました。また、瀬下副校長より、学事報告が色々の分野にわたり報告されました。

続いて懇親パーティーに移り、いまいちど瀬下副校長より新校舎竣工に向けての現状が詳しく報告された後、乾杯の音頭をとられ、一同高らかに乾杯いたしました。

新潟より持参の「越の寒梅」も振るまわれ、一同和気あいあいの中、懇親を深め、盛会に進行いたしました。

また、恒例の福引きで会場がわいた後中々となり、奥田まゆ子さんの音頭で、最後に幹事の小林史郎さんの閉会の挨拶があり、名残り惜しさがつきぬ中、閉会となりました。

なお、当日の出席者は68名でありました。

(浮部記)



学校長

宮沢 稔

創立八十周年、 新校舎竣工に寄せて

本校は、大正、昭和、平成の三代にわたつて教育の灯をともし続け、一昨々年、創立

八十周年を迎えました。そして、八十周年の記念事業として取り組んだ新校舎の竣工を

創立八十周年記念事業 校舎移転新築報告

創立80周年記念事業を飾る新校舎への移転が無事完了し8月26日に開校いたしました。ご協力ありがとうございました。

JR信越線亀田駅から徒歩5分の新潟市北山に、広々としたグラウンドや大・小体育館、弓道場、屋内練習場等を備え、430名が入れる講堂や各種演奏会に対応できる音楽ホール、リスニングテストに対応したL.L教室など、冷暖房完備で学習環境に配慮した施設・設備の新校舎が県下最大規模の校地に完成し、新たな明訓高校の歴史を刻み始めています。

好学・自治の校訓のもと、明訓高校は1年生から一人ひとりの目標にそったカリキュラムにより夢の実現を目指します。I類は、全ての大学入試に対応でき、II類は、受験科目の少ない国公立や私立入試に対応できます。III類は、スポーツの分野に力を入れ、スポーツ推薦や部活動の成果をもとに私立や受験科目の少ない国公立入試に対応するものです。

○移転先 〒950-0116 新潟市北山1037番地
電話 (025)257-2131 FAX (025)257-2077

○校地および校舎面積	
校地面積	79,581.00m ² (約 24,115坪)
管理・特別棟	8,643.12m ² (約2,619.13坪)
普通教室棟	5,912.88m ² (約1,791.78坪)
大体育館棟	3,008.52m ² (約 911.67坪)
小体育館棟	2,949.33m ² (約 893.74坪)
弓道場棟	188.25m ² (約 57.05坪)
屋内練習場	733.58m ² (約 222.30坪)

人材の養成」を教育の目標に、自然環境の良さと面倒見の良いい先生がバックアップし、個々の生徒が明るく伸び伸びとしたキャンパスライフを通して、夢の実現に向かって進める環境が整いました。

昭和29年、第5回卒業の悪ガキ達も今年は古稀を迎える事となりました。節目の今年第十六回目の同期会を開く事になり、標題のように古稀記念同期会といたしました。幹事四人と事務局が一生懸命プランを考えました。丁度明訓高校が北山に立派な校舎が完成し、旧校舎は見納めになる年にあたり、集合場所は、旧明訓高校正門前に決めました。

新潟明訓高等学校 第五回(昭和二十九年)卒業生 古稀記念同期会

平成十六年六月十九日午後二時、二十五人の有志は信濃川やすらぎ堤の上にならびして旧校舎をなつかしそうに見やりながら、校歌にもある「ああその岸に若き日の」の歌詞を想い浮かべていました。ホテルの送迎車でまずは、新校舎へと向かいました。立派な新校舎に到着し、校舎前庭で記念撮影し、校舎内部について事務局より簡単に説明をいたしました。折しも野球場では富山商業を招いての試合が行われていました。新校舎を後に車は一路、月岡温泉「ホテル摩周」へと向かいました。

は各室で落ち着いた後、早速名物の温泉に入り、本物の月岡の湯を満喫しました。午後六時より大広間にて会が始まり、同期の人達よりのメッセージ、本会渡辺会長よりの祝電、物故者に対する黙祷等、会次第をこなし、いよいよ、宴会に入りました。



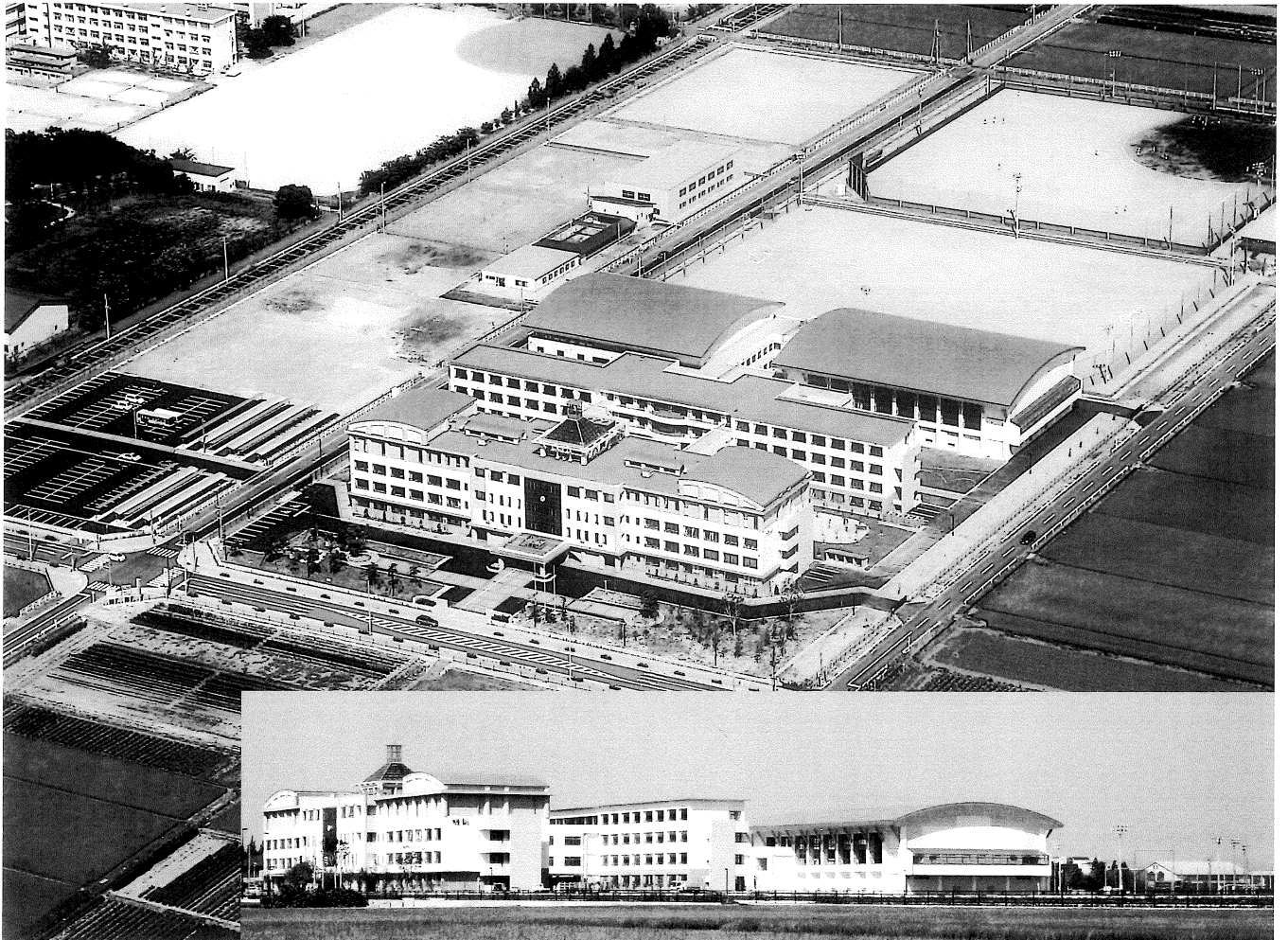
皆さん古稀なんぞどこに来たかといった様子で、昔の悪ガキにもどりの二時間の間飲みかつ食べて大いに語りあい、暑い時を過ごしました。二次会はホテル内のクラブで全員参加の中、カラオケで大いに盛り上がり、中には歌手になつてもいいような名人も出て、時のたつのを忘れませんでした。

その時の状態を写真とビデオの担当が二人でくまなく撮ってくれ、感謝されていました。二次会終了後、幹事サロンにて新潟銘酒各種、名物エンピツ茄子漬等で三次会を行い、皆さんに「やつぱり来てよかった。」とお褒めの言葉を戴きながら、就寝しました。

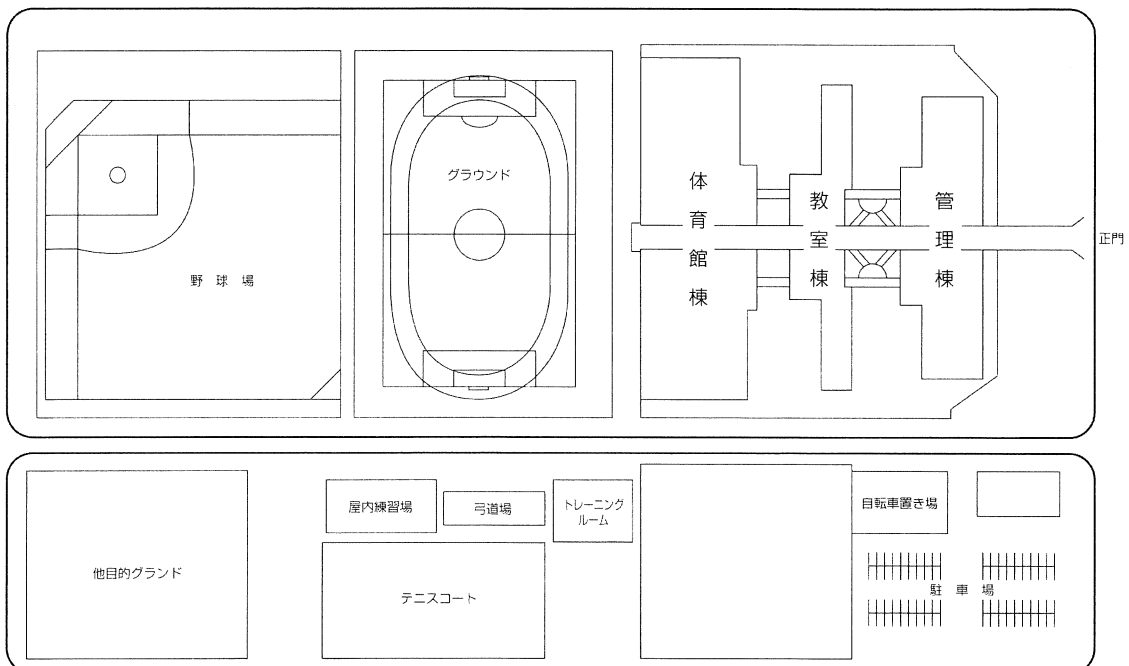
翌朝は、ホテル名物の色々のごちそうを肴に、朝氣付の一杯を飲み、帰路につきました。途中福島潟でバードウォッチングをして新潟へ向かいました。

いい古稀だったなあ、疲れたなあ」が実感でありましたが皆にこれだけ喜んでもらえた満足感で一杯でした。
(事務局 児嶋記)

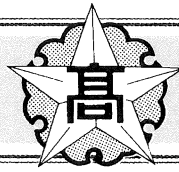
新潟明訓高等学校 新築校舎全景



校地平面図



学 校 高 案 内



今年 の 合 格 状 況

国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数	私立大学	合格者数
北海道大	1	北海道医療大	1	二松学舎大	1
東北大	1	酪農学園大	2	日本大	41
宮城教育大	1	東北福祉大	3	日本社会事業大	3
秋田大	1	東北薬大	1	日本女子大	6
山形大	2	東京福祉大	2	法政大	13
福島大	1	跡見学園女子大	1	武蔵大	4
茨城大	2	獨協大	11	明治大	11
筑波大	2	文教大	12	明治学院大	8
群馬大	1	青山学院大	8	立教大	6
宇都宮大	3	亜細亜大	2	早稲田大	7
千葉大	2	大妻女子大	4	神奈川大	21
電気通信大	1	学習院大	2	関東学院大	5
東京学芸大	3	国立音大	1	フェリス女大	1
東京芸大	1	慶応大	6	長岡造形大	3
横浜国立大	1	工学院大	3	新潟国際情報大	6
上越教育大	1	国学院大	2	新潟薬大	25
新潟大	55	国際基督教大	1	新潟工科大	3
富山大	2	駒沢大	11	新潟青陵大	6
金沢大	3	上智大	2	新潟医療福祉大	10
京都大	1	昭和女子大	5	金沢工大	2
大阪教育大	1	女子美大	2	南山大	1
秋田県立大	1	白百合女子大	1	京都外大大	2
福島県立医大	1	成蹊大	3	京都産大大	1
高崎経大	1	成城大	3	同志社大大	7
東京都立大	1	専修大	15	同志社女子大	1
富山県立大	1	大東文化大	8	立命館大大	15
福井県立大	1	拓殖大	4	関西大大	3
都留文科大	1	玉川大	4	関西学院大	3
愛知県立大	1	多摩美大	1	その他	133
県立広島女子大	1	中央大	17	私立大学合計	574
国公立大学計	95	津田塾大	1	短期大学	合格者数
		東海大	16	山形県米沢女短大	1
		東京家政大	6	埼玉県大短大部	1
		東京経大	2	東京都立短大	1
		東京工大	2	横浜市大看護短大	1
		東京慈恵会医大	1	県立新潟女子短大	8
		東京女子大	4	東京家政大短大	1
		東京電機大	2	女子栄養大短大部	1
		東京農業大	5	大妻女大短大部	3
		東京理大	6	新潟青陵女短大	1
		東京洋邦大	17	その他	17
		東邦大	1	短期大学計	35

国公立95名
新潟大55名はじめ、京都・北海道
東北・筑波・千葉・金沢・電気通信
東京都立・横浜国立等
国公立大合格 95名
私大でも慶応・上智で大躍進
早稲田大7名、明治大11名、法政大13名
中央大17名……と大健闘!!

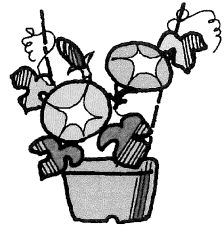
平成16年度入試につきま
して、大学入試センター試
験より振り返ってみたいと
思います。センター試験は
志願者数、受験者数ともに
減少に転じ、前年比で受験
者数が約一万五千人の減少
となりました。短大が初め
てセンター方式を導入した
ことに伴い、2教科以下で
の受験者数が微増いたしま
した。センター試験で5教
科7科目を課した募集単位
は国立大で全体の71.6% (前
年比61.1ポイント増)となり、
前年比に比べ大幅に増加いた
しました。2000年に国
公立大学のセンター試験5
教科7科目目が発表された
ことにより、当初は科目増
加による負担感から国公立

大学に対する敬遠傾向が生じ
るのではと言われておりまし
たが、全国の各高等学校の科
目増への対応が進んでいたこ
とにより、04年度入試では過
去より5教科6科目でセンタ
ー試験を実施していた大学に
つきましては、志願者の敬遠
は概ね見られませんでした。
反面、センター試験4教科以
下で受験可能な国立大学は全
体の14.2%で、前年の半数以下
に減少するなど、受験生への
負担が益々増える傾向となっ
ております。

学部系統別志望状況につき
ましては、保健衛生学系統が
高人気を維持しております
が、短大の4年制大学化等に
より全体の募集人員数が増加
したため、系統全体では競争
の激化は落ち着いた状態であ
ります。また、法学系統は前
年並みの人気を維持しており
ましたが、法科大学院(ロ
ー・スクール)設置に伴う募
集人員数の削減が相次いで発
表されたことを受け、実際の
入試では志願者数が減少する
一方、相変わらず上位の大学
では厳しい競争となっており
ます。

また今後は、06年度から始
まる新課程入試、06年度から
摘要される見込みの薬剤師養
成課程の6年化、センター試
験リスニング導入、大学によ
っては後期日程を廃止した
り、センター試験で理科3科
目を課すことを発表している
大学も見受けられます。この
ように受験生を取り巻く入試
環境も大きく変化し予断を許
さない状況となっております。

さて、このような状況の中
で、本校の後輩諸君は素晴らしい健闘振りを見せ、新潟大
55名をはじめ京都・北海道・
東北・筑波・千葉・金沢・電
気通信・東京都立・横浜国立
等現浪あわせて95名の国公立
大合格者を輩出いたしました。
学部学科の研究を綿密に
行い、自分のやりたい研究内
容を優先し地域にとらわれる
ことなく全国展開の大学受験
を試みた生徒諸君に頼もしさ
を感じる次第であります。私
大でも慶応・上智で大躍進を
見せ、早稲田大7名、明治大
11名、法政大13名、中央大17
名と多くの生徒が希望どおり
合格を果たしました。



平成十六年度 明訓祭

『愛と涙の明訓トレイン川岸町発北山行き』

今年8月に校舎が新潟市北山へ移転することから、川岸町校舎で最後のお別れをしようということで、例年より早い6月に明訓祭が行われました。準備期間も少なく実現可能なのだろうかという不安もありましたが、川岸町校舎最後の明訓祭を盛り上げたという強い思いを持つ2、3年生を中心に、着々と準備が進められました。入学したばかりでの明訓祭にとまどう1年生も、上級生たちの懸命に準備をする姿を見て、その意味を感じ取り本当に頑張ってくれました。「愛と涙の明訓トレイン川岸町発北山行き」というメインテーマのもと、全員の心が一つになって、明訓祭を盛大に行うことができました。

今年度の明訓祭は合唱部による素晴らしい歌声から開会式が始まりました。また、校庭に飾る垂れ幕の一番上には「さよなら！ありがとう川岸町校舎」という文字を全クラスで協力して作ることもできました。閉会式では、全校生

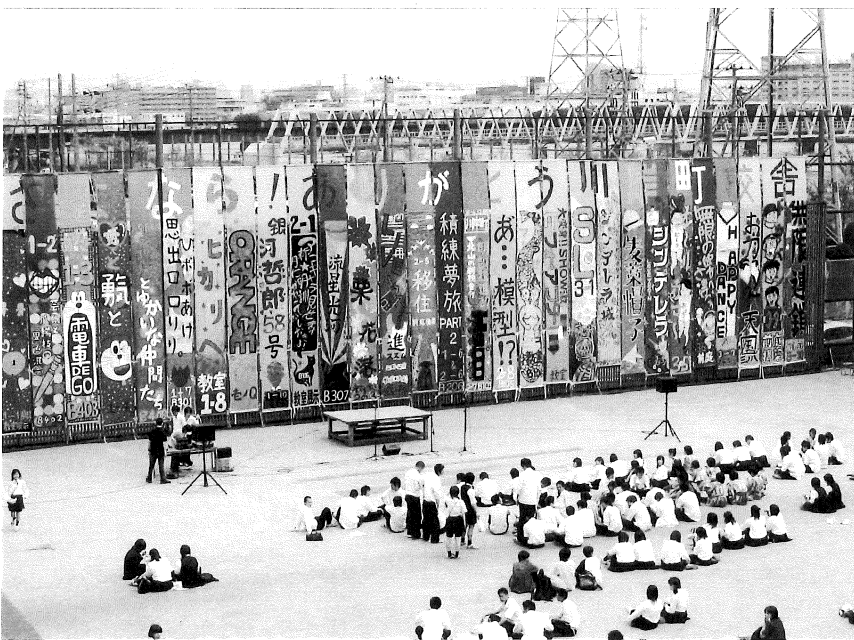
徒全員でスピッツの「空も飛べるはず」という歌を吹奏楽部の演奏とともに大合唱をすることができ、感動的なフィナーレとなりました。

総合展示では、学校行事の写真、部活動の優勝旗や賞状、部活紹介パネル、部活ユニフォームが展示されました。リバイススクエア（のど自慢）では、3年生を中心に力強い歌声が校庭に響き渡りました。明訓の集いでは、演劇、合唱、ダンス、吹奏楽部による発表が行われ、今年も大いに盛り上がりました。1年生も、合唱コンクール、書道、美術作品を展示し、完成度の高い作品を仕上げていました。

クラス表現では、どのクラスも創意工夫と努力を重ねた素晴らしい作品が発表されました。その力作揃いの中、明訓大賞を受賞したのは3年8組「お刀天国」…時代劇を、コミカルな芝居と踊りを融合させたステージ発表で、観客を大いに笑わせ、盛り上げてくれました。以下、各部門賞

を紹介します。☆教室展示部門 2年7組「明訓鉄道27」：教室という空間を上手く使い、色鮮やかな列車を作り上げました。☆教室演劇部門 3年3組「麦藁帽子」：麦藁帽子が巻き起こす愛と友情の物語で、感動的な作品を上映してくれました。☆ステージ部門 3年4組「真デレラ〜2人のLOVE TRAINは止まらない〜」：誰もが知っているシンデレラを、様々な音

楽やダンスを取り入れて楽しませてくれました。☆前庭構築物部門 3年6組「無限のかなたへさあ行くぞ」：折り紙のツルを約2万羽作り、壁画の両面を上手に使い表現してくれました。最後にありますが、今年もご多忙中、多くの来校者の皆様にお越しいただき誠にありがとうございました。来年からは北山へ移転して初めての明訓祭となります。新校舎で



「垂れ幕」全クラス作品

修学旅行 学びの旅

は、どのような形態で明訓祭が実施できるかを今後も検討していく必要がありますが、皆様方の期待に応えられるよう

九月一日から三泊四日間で修学旅行に出かけてきました。今年の旅行では、総合学習の時間を盛り込むために、東京・京都での研修を義務付けたのが例年との大きな違いです。日程的にかなりきつい内容となりましたが、生徒たちの協力と自主性のおかげで、何とか無事に終えることができました。主な日程は次の通りでした。

- ① 国際協力コース。ウイメンプラザで「フェアトレード」について学び、国際協力機構では、青年海外協力隊の活動報告を聞かせてもらいました。
- ② 経済コース。日本銀行本店で先日公開されたばかりの地下金庫を見学、また、十一月発行の新日本銀行券を見ながら、紙幣印刷に関する最新技術についての解説をしてもらいました。東京証券取引所では、「株式」に関する基本的な授業を受けました。
- ③ 法学コース。特許庁で「特許」に関する簡潔な説明を受け、身近なものとして理解できました。日本弁護士会館では、現役弁護士の先生から、法学に関する講演をしていただき、より一層法曹界への関心を高めました。
- ④ メディアコース。NHKスタジオパークを見学し、放

動

- 一日(水) 東京「昼の研修」及び「夜の東京見学食事」
- 二日(木) 京都半日研修
- 三日(金) 京都市内別行動
- 四日(土) クラス別行動

今回一番大変だったのは、東京での日程でした。夜の見学を終えてホテルに戻ってきたのは遅いクラスで十時半頃でした。興奮さめやらぬうちに消灯時間となり、生徒も引率教師も大変でした。

東京昼の研修は以下の九コースで動きまわりました。



未来館では、宇宙・海洋分野における科学技術の見聞を広げました。

⑦歴史探訪コース。浅草寺周辺の散策をした後、江戸東京博物館を訪れ、江戸文化に関する展示、特に「復元された日本橋」に関心を抱いて見学して見ました。

送業界に関する簡単な説明を受けました。日本科学未来館では、最新の科学技術に関する展示などを興味深く見学していました。

⑥全日空コース。羽田空港にある、全日空の機体メンテナンスセンターを見学。航空力学に関するミニ講義では、飛行機がなぜ飛ぶのか、実際に模型を飛ばして説明がなされ、生徒には大好評でした。横浜の三菱みなと

①横浜中華街で食事とランドマークタワーで夜景見学。
②東京湾豪華ディナークルーズ。

③レストランボートで隅田川お台場周辺遊覧。

④よしもと演芸鑑賞

⑤池袋サンシャインシティにてテールマナー。

二日目は東京から京都への移動で始まりました。朝の通勤ラッシュ時にホテルから品川駅の新幹線乗り場までの移動は暑さと距離もあり、大変でした。中には途中走って、何とか列車に間に合ったというクラスもありました。京都に到着すると、少し肌寒いくらいで驚きました。小雨が降っていたのですが、昼食会場に徒歩で移動するときは幸いにも雨が止み、濡れずに済みました。午後のクラス毎の研修は以下の通りでした。

①県立琵琶湖博物館 (二組・九組)
②積水ハウス納得工房 (一組・三組)

③きつづ光科学館ふおとん (八組・十組)

④福寿園CHA研究センター (四組)

⑤清水焼手びねり体験 (五組)

⑥京セラ本社 (六組・七組)
今回の旅行は前半の二日間が全く初めての試みで、何かと心配も多かったのですが、生徒たちのアンケートを見る

と、おおむね好評で有意義なものになったようです。

三日目は天候にも恵まれ、最高気温が三十二度程度でまだまだ残暑厳しい中、班別行動に練り出しました。銀閣寺周辺では、人力車に乗せてもらうグループが多く、宿に帰ってくるなり、その感動を伝えてきました。また、いつの間にか「京ことば」を習得し連発している生徒もいました。

夜には新京都周辺での買い物にかけ、両手にたくさんのお土産を持ち帰ってきました。一息つく間もなく、夜九時受付終了の宅配に間に合わせるため、生徒のみならず、職員も自分の荷物の整理に大慌てでした。この日の夜はさすがに疲労が重なり、だいたいの部屋は早い時間に静かになりました。ただ、大部屋は特に深夜遅くまで寝付けないうようでした。

最終日四日目は各クラス体験学習と観光でした。

①八つ橋作りと広隆寺
②教扇堂 (扇子絵付け) と二条城
③清水焼絵付けと清水寺
④竹箆編み体験と京都国立博物館

この日は蒸し暑く、強い日差しが照りつけるかと思えば、時折小雨の降る複雑な天候でした。京都駅から専用臨時列車に乗車し、琵琶湖が見える頃までには、雨も本降り

になっていたことを覚えていきます。それぞれの思い出を胸に大

きな事故や怪我もなく、無事に帰郷し、ようやく充実感がこみ上げてきました。

部活動報告

各部目覚ましい活躍

【運動部】

◎剣道部

《第32回三条杯剣道大会》 4/25 三条市総合体育館

・女子団体 第3位
《春季地区大会》 5/7~8 黒埼地区総合体育館

・女子個人
第1位 大澤 朋代
第2位 佐藤 綾乃
第3位 柳本 あや
長澤佐衣子
ベスト8 荒井 彩絵
田中友香里
玉虫ひとみ

・団体
男子 3位 女子 1位
《県高校総合体育大会》 6/4~6 リージョンプラザ上越

・団体
男子 3位 女子 優勝
第1位 大澤 朋代
第3位 長澤佐衣子
ベスト8 柳本 あや

《新潟県女子剣道選手権兼全日本女子選手権県予選》 6/13

上越高田スポーツセンター
女子個人
第2位 大澤 朋代
全日本女子剣道選手権大会出場
《北信越高校剣道大会》 6/18~20 富山県西部体育センター

・団体
男子 ベスト8
女子 優勝
・女子個人
優勝 大澤 朋代
《第25回北信越団体》 8/29 石川県立武道館

・少年女子 本国体出場
大澤 朋代
柳本 あや
長澤佐衣子
《秋季新潟地区剣道大会》 9/10 黒埼地区総合体育館

11
・団体
男子 3位 女子 優勝
男子個人
ベスト8 八子 尚也
女子個人
第1位 田中友香里
第2位 清水 里奈

ベスト8 佐藤 綾乃
吉井恵利里

◎陸上部

《柏崎陸上競技選手権大会》
4/24~25

柏崎市陸上競技場》

一般男子

男子1000M

第1位 黒川 哲雄

男子2000M

第1位 黒川 哲雄

男子8000M

第1位 箕輪 祐俊

第5位 高橋 洵

男子15000M

第2位 箕輪 祐俊

男子走幅跳

第4位 清田 達史

男子三段跳

第8位 清田 達史

一般女子

女子2000M

第1位 鈴木 智子

第3位 早川明日香

女子4×1000M
リレー
第1位

(西山・早川・二宮・鈴木)

女子8000M

第3位 山本あゆみ

女子15000M

第3位 奥村 春香

第6位 駿河 麻貴

第8位 渡辺 美穂

女子走幅跳

第3位 二宮 千愛

女子1000Mハードル

第4位 玉木 佳苗

第7位 渡邊 夢菜

第8位 高橋 瞳

《第54回中越陸上競技選手権大会5/3~4》

一般男子

男子1000M

第1位 黒川 哲雄

第5位 中村 俊幸

男子2000M

第1位 黒川 哲雄

男子4×1000M
リレー
第1位

(清田・中村・駒田・黒川)

男子4000M

第4位 中野 涼司

一般女子

女子1000M

第2位 鈴木 智子

女子4×1000M
リレー
第2位

(二宮・早川・玉木・西山)

女子2000M

第4位 西山 陸美

女子砲丸投

第4位 大津 優

女子やり投げ

第7位 高橋 瞳

《春季新潟・下越地区大会》
5/13~15 新潟市陸上競技場》

男子

男子1000M

第1位 黒川 哲雄

男子8000M

第1位 中野 涼司

第5位 高橋 洵

男子2000M

第2位 黒川 哲雄

男子7種競技

第7位 加藤 雅俊

男子走幅跳

第7位 加藤 雅俊

第2位 清田 達史

男子4×4000M
リレー
第2位

(駒田・黒川・石原・加藤)

男子4×1000M
リレー
第3位

(清田・中村・駒田・黒川)

男子4000M

第4位 駒田 俊

男子走高跳

第5位 坂井 健

男子15000M

第6位 丸山 翔

男子三段跳

第7位 清田 達史

女子

女子1000M

第1位 鈴木 智子

第3位 早川明日香

女子15000M

第2位 山本あゆみ

第4位 奥村 春香

女子30000M

第3位 奥村 春香

女子1000Mハードル

第6位 玉木 佳苗

女子2000M

第1位 鈴木 智子

第4位 早川明日香

第7位 西山 陸美

女子4×4000M
リレー
第6位

(大竹・早川・二宮・西山)

女子4×1000M
リレー
第2位

(二宮・早川・玉木・鈴木)

女子砲丸投

第5位 大津 優

女子7種競技

第5位 大津 優

第4位 高橋 瞳

第5位 大津 優

《北信越高校総体6/18~20
松本市広域公園陸上競技場》

男子

男子4×1000M
リレー
第2位

(清田・中村・駒田・黒川)

男子4×4000M
リレー
第5位

(駒田・黒川・中野・加藤)

男子8000M

第3位 中野 涼司

第6位 箕輪 祐俊

男子走幅跳

第8位 清田 達史

女子

女子2000M

第2位 鈴木 智子

女子1000M

第3位 鈴木 智子

女子4×1000M
リレー
第4位

(二宮・早川・玉木・鈴木)

《秋季新潟・下越地区陸上競技大会》
9/11~12

新発田市五十公野陸上競技場》

男子 総合第2位

男子1000M

第1位 黒川 哲雄

男子2000M

第1位 黒川 哲雄

男子4000M

第1位 加藤 雅俊

男子8000M

第1位 箕輪 祐俊

男子15000M

第1位 箕輪 祐俊

男子4×1000M
リレー

男子4×1000M
リレー

男子4×1000M
リレー

第1位 (高橋・加藤・中村・黒川)
男子4×4000M
リレー
第1位 (駒田・加藤・箕輪・石原)

女子 総合優勝

女子1000M

第1位 鈴木 智子

第1位 鈴木 智子

女子4×1000M
リレー
第1位

(二宮・早川・玉木・鈴木)

女子7種競技

第1位 渡辺 夢菜

◎野球部

《北信越地区高校野球大会》
新潟地区予選 4/30~5/2

新発田市鳥屋野球場》

◎巻

《巻総合高校8~10》

◎巻

《北信越地区高校野球大会》
新潟地区予選 5/12~16

悠久山球場・三条市民球場》

◎十日町

6~5

◎北越

3~1

◎日本文理

5~3

◎新潟江南

7~0

優勝

《北信越地区高校野球大会》
6/3~7 富山市営球場 他》

◎弓道部

《護国神社春季奉納武道大会5/5》
護国神社境内仮設弓道場》

第4位 志賀 萌

第10位 後藤かおる

《県高等学校弓道大会6/4~6》

個人女子

第4位 木戸めぐみ

◎バドミントン部

《春季地区大会 5/7~8》
県立吉田高等学校》

男子ダブルス

ベスト32 古俣・星野

男子シングル

又賀・藤波

2回戦進出 又賀

1回戦敗退 古俣・星野

女子ダブルス

1回戦敗退 藤波・猪爪

女子シングル

2回戦敗退

《県総合体育大会 6/3~5》
リージョンプラザ上越》

1回戦敗退

◎卓球部

《春季地区大会 5/6~7》

男子団体 第7位

個人

ベスト32 本多 優也

◎テニス部

《春季地区大会 5/6~7》
新発田市・中条町 他》

男子ダブルス

準優勝 石橋・後藤

ベスト8 池野・佐藤

ベスト8 福田・勝見

富田・遠藤

渡辺・馬場

男子シングル

第3位 佐藤

ベスト16 石橋・富田

渡辺・池野

渡辺・池野

渡辺・池野

渡辺・池野

渡辺・池野

渡辺・池野

渡辺・池野

渡辺・池野

勝見・福田
 ・女子ダブルス
 ベスト8 岩橋・薄井
 小野(陽)・小野(昌)
 渡辺・稲田
 ・女子シングルス
 準優勝 小野 陽子
 ベスト8 岩橋 加織
 薄井美菜子
 ベスト16 渡辺佳奈子

《県総合体育大会 5/29~31
 塩沢大原運動公園テニスコート》
 ・男子団体 ベスト8
 ・男子ダブルス
 ベスト8 池野・佐藤
 岩橋・後藤
 ・男子シングルス
 ベスト16 佐藤 惇

《県総合体育大会 5/29~31
 十日町サンスポーツランドテニスコート》
 ・女子団体 ベスト16
 ・女子シングルス
 ベスト16 小野 陽子

《秋季下越地区高校テニス大会
 9/2~3
 中条町国際交流テニスコート
 新発田市五十公野公園テニスコート》
 ・男子ダブルス
 ベスト32 吉田・山賀
 ・男子シングルス
 ベスト8 谷内田
 ベスト32 高橋

◎水泳部
 《春季地区大会 5/25
 ウエルサンピア新潟》
 男子
 ・男子400M個人メドレー
 第1位 庭山 雅幸

男子2000M個人メドレー
 第2位 庭山 雅幸
 女子
 ・女子2000M個人メドレー
 第3位 矢部 由佳
 ・女子1000Mバタフライ
 第3位 矢部 由佳

《県総合体育大会6/18~20》
 男子
 ・男子2000M背泳ぎ
 第8位 山本 厚
 ・男子2000M個人メドレー
 第6位 庭山 雅幸
 ・男子400M個人メドレー
 第3位 庭山 雅幸

女子
 ・女子2000M個人メドレー
 第7位 矢部 由佳

【文化部】
 ◎珠算部
 《第58回新潟県珠算選手権 5/9
 新潟商工会議所中央会館》
 ・スクール部門
 個人総合競技 第2位 小池 進

読上暗算競技 第3位 小池 進

◎写真部
 《第8回撮影大会 6/4~5
 新潟会館 ユニゾンプラザ》
 ・競技部門
 特選 五十嵐陽子
 奨励賞 横山絵梨花
 滝沢 未央

入選 原 聡子
 阿部未加子
 田巻美紗子
 高橋 彩
 渡辺真梨絵
 奥田 碧
 五十嵐智子

◎将棋部
 《第13回新潟県高等学校
 文化連盟将棋大会 5/8》
 ・男子団体 第3位 吉崎 大理
 小林 竜也
 篠原 龍彦

◎放送部
 《第51回NHK全国高校
 放送コンテスト県大会
 6/18 新潟市音楽文化会館》
 ・アナウンス部門
 第6位 高橋 瑞貴
 全国大会出場
 ・朗読部門
 第2位 江口 綾
 全国大会出場
 ・ラジオドキュメント部門
 第1位 「水の中にある世界」
 全国大会出場
 ・テレビドキュメント部門
 第4位 「さらば愛しき川岸町」
 全国大会出場

《第51回NHK杯
 全国高校放送コンテスト7/22~25
 オリピック青少年総合センター
 NHKホール》
 ・ラジオドキュメント部門

製作奨励賞
 「水の中にある世界」
 《第28回全国高等学校
 総合文化祭徳島大会 8/1~4
 阿南市文化会館》
 ・ビデオメッセージ部門
 優秀賞 「ベースボールチーム
 ~2002年の君達へ」

◎囲碁部
 《新潟県高校春季囲碁大会
 5/22~23 敬和学園高校》
 ・団体戦
 男子2位、女子2位
 ・個人戦
 Bブロック 優勝 田口 真也
 Eブロック 優勝 印南 広明
 ・入昇段
 2段獲得 渡邊 俊
 初段獲得 川崎 勉
 田口 真也
 全国大会出場権獲得 渡邊 俊
 7月東京大会、8月徳島大会

◎書道部
 《第5回全国高校生美術祭
 8/3~6 東京国際フォーラム》
 ・書の部
 奨励賞 田辺 梨恵
 《第1回真太陽国際書道展
 8/6~8 平良市総合体育館》
 優秀賞 島崎 愛
 長谷部麻梨絵

全国大会への道

剣道部(女子) 大澤朋代

私達剣道部女子は、全国入賞を目標に部員全員が一丸となり、毎日厳しい稽古を積み、遠征を重ね県大会を勝ち抜き、団体・個人共にインターハイ出場を決めた。三連覇のプレッシャーの中での試合は辛かったが、優勝を決めた時は本当に嬉しかった。

全国4強入りを目標に挑んだインターハイ予選リーグ緒戦を4-1と大差で負け、リーグ突破の可能性がほぼなくなった。しかし私達はリーグ突破のわずかな可能性を信じ、チームが一つとなって戦い、二試合目を5-0と勝って予選リーグ突破を果たした。それから準々決勝まで勝ち進み、優勝校である高千穂高校に惜しくも敗れ、ベスト8という結果を残し終わった。

全国4強入りの目標は果たせなかったが、高校生活最後のインターハイは素晴らしい思い出になった。私も含め、誰もがリーグ敗退を予期したが、最後まで諦めず皆が一つになり戦えたあの試合の勝利の感動は忘れられない。今まで仲間達と一緒に頑張ってきた本当に良かったと思った。後輩達には今年成し遂げられなかった全国入賞、全国制覇を狙ってもらいたい。最後まで諦めずチーム一丸となり努力をすれば必ず結果はついてくるはずだ。

私達三年生は引退となるが、この大会で改めて実感できた「最後まで諦めず頑張る」ことが決して無駄にならず、将来、役に立つことを信じ、どんな困難も乗り越えていきたいと思う。

陸上部(男子) 箕輪祐俊

「さらなる飛躍を目指して」
 春の地区大会から足の故障や体調不良が続き、今年の目標であるインターハイ出場も正直なところ不安だった。そして、気力との戦いで迎えた北信越大会決勝は、6位でどうにかすべり込みセーフだった。

「体調管理も実力のうち」とよく言われるが、思えばここ数ヶ月、暑いからと大量のスポーツドリンクを飲んでしまい、その結果十分な食事がとれなくなっていたのだ。これではスポー

ツ選手として失格だ。やはり基本は食事にあると強く反省し、それから栄養学の本を読んだり、トップアスリートの献立を参考にしたり、水分のとり方にも注意をしながら身体のことを真剣に考えた。食生活の改善を試みても効果が現れるはずはないが、インターハイに出場するからにはベストを尽くしたい。そして頑張って自己記録を更新したいと思っていた。結果、準決勝まで経験することができた。これまでの状態から考えて、仮に自己ベストが出せたとしても準決勝までは無理だと思っていたので嬉しかった。このすばらしい経験をすること、自信もつき、来年への明確な目標をもつことができた。それは、来年またあの場所で勝負することだ。最後になりましたが、自分を支えてくれた家族や仲間、陸上をおもいつきりやらせてくれる先生方に感謝したい。そのことに恩返しするためにこれからさらなる飛躍を目指してがんばりたい。

囲碁部 (男子)
渡邊 俊

「二色のマイナーゲームからの恩恵」
七月末、東京にある日本棋院というところで、囲碁の全

国大会が行われた。日本棋院という場所を知っている人は少ないだろうから、軽く補足しておこうと思う。ここは、全国大会が行われるだけではなく、碁を打つことを仕事としている人達が集まって、検討したり、戦ったりするところ、らしい。まあ、野球で言ったら甲子園といったところだろうか。そんなおエライところに僕はいた。しかも新潟県代表という看板をしょって、五月の下旬に全国出場を賭けて、新潟県大会で戦った。団体戦は逃したものの、個人戦は三勝一負の第二位という成績で、全国へのキップを手に入れることができた。

その数日後には徳島で碁の文化祭らしきものが待っていた。徳島では負けん！」
両手にいっぱいのお土産をかかえながら、新幹線内で一人リベンジに燃えたのだった。雪辱を期した徳島では、成績もまあまあで、僕としても満足できたと思う。
東京と徳島に行つて、考えも少し変わった。囲碁に対する執着心らしきものが芽生えたようだ。毎日とまではいかないが、定石(攻め方、守り方の基本みたいなもの)、多分プレステージ暗唱文よりも、もっと多いハズ)も勉強するようにしているし、プロの対局もよく見る。かかさず練習することは上達の近道らしいようで、ネットでも、少しずつ勝てるようになってきた。この熱が勉強にも向けばとは思いますが、それは、当分のこととなるだろう。
来年は、個人戦だけでなく、団体戦も行けたらと思っっているのだ、今まで以上に頑張るべきではない。もちろん、パンクしないように、部活は週一回のままでけられ、皆で勝つて、東京へ行ったり、青森でリンゴを食べたりできれば、それはそれは、今年の何十倍も嬉しいことに間違いはないハズである。

写真部 (女子)
湯浅 祐佳

「全国高総文祭徳島大会に参加して」

写真部は今年度の全国高等学校総合文化祭徳島大会に三年二組湯浅祐佳と三年八組五十嵐奈央の作品が県代表作品として出品されました。

現地では出品作品展で全国から集まった作品を見る事ができました。どの写真も力強く、一枚一枚から各々の作者の感性の音楽が聞こえるようでした。百人いれば百人の見方があり、百人の撮り方があるのだということに改めて感じ、今後の自分の写真表現に幅を持たせるきっかけの一

つになったように感じました。講評会において審査員で写真家の先生が「撮る方も感性、選ぶ方も感性」と言った言葉が確かにその通りと印象に残りました。また、徳島といえ

るには相当な練習が必要なのだと感じました。撮影会は徳島中央公園での阿波踊りの撮影が予定されていましたが、二年連続で全国高総文祭を襲った台風のため、急遽徳島市立体育館に場所を移して行われました。この撮影会のために特別に踊ってもらったのですが、その踊りを見る人の視線と気持ちがあつという間に踊りの渦の中に引き込んでしまうほどのものでした。

この全国大会を通して、全国の写真部員の高校生達と交流し、彼らの作品を見たことで自分も新たな表現に挑戦していこうという気持ちを持つことができました。また、開催地の人や風土に触れたことも貴重な経験になりました。

つになつたように感じました。講評会において審査員で写真家の先生が「撮る方も感性、選ぶ方も感性」と言った言葉が確かにその通りと印象に残りました。また、徳島といえ

終身会費納入者御芳名
(敬称略)

平成十六年八月三十一日現在

平成十二年卒 全日制51回 6組 (1名) 市橋 明子	五十嵐 弘幸 高杉 あかり 2組 (1名) 相馬 昂久	4組 (2名) 関口 麻貴子 中野 育子 5組 (1名) 富樫 雄	7組 (2名) 五十嵐 美佳 高橋 正光 8組 (3名) 猪狩 晋	1組 (33名) 池田 麻里子 池田 康朗 井上 佑泰 大野 えり 金子 裕介 金子 裕里 兼田 康敬
平成十五年卒 全日制54回 3組 (1名) 高居 美幸	3組 (1名) 高居 美幸	6組 (1名) 滝沢 美保		

渡辺翔	和田卓之	吉田るい	諸原悠輔	本川彩	見原由泰	廣川千紘	針貝美奈子	原真優子	長谷川和哉	長谷川彩	野上流星	土佐美華	高橋祐子	高木香那子	須田篤	菅原敦美	治田陽	佐藤莉奈	佐藤美枝	齋藤翼	近藤千恵	小林祥子	小島拓也	幸内花恵	北川佳奈江	嘉村雅江		
星健太	平野伶	馬場俊輔	長谷部千鶴	長谷川真	野村健太	玉置小百合	霜田美奈子	重住美奈子	佐藤綾祐	小林裕介	小林友美	小林一貴	小林歩美	後藤純司	吉備津宏美	鎌倉明香	小野穂高	小川明	岡田知花子	及川佳恵	遠藤友子	石黒久子	飯田孝子	阿部俊人	青木千歳	2組 (32名)		
樋浦佑馬	野村暁也	西沢佳之	中川優子	田邊麻里江	田邊久美	関辰哉	佐藤敬	近藤優	小林あゆみ	菊地礼雄	加藤美由紀	加藤見奈	片山智行	片桐梓	岡島有希	多田正大	稲津あや子	伊藤直志	浅野智史	3組 (29名)	渡邊彩	吉沢智子	諸橋有紀	丸山奈津美	梶谷萌絵			
坂田賢太	坂口直美	坂井矩夫	齋藤正樹	駒村真理子	小林彩美	小嶋教寛	小風文佳	小泉晃	甲斐俊介	大矢千晶	太田奈穂子	大越友美	遠藤亜紀	稲垣美千子	伊藤綾子	石澤陽子	石坂渉	4組 (41名)	渡部史子	吉川絵理	森山麻美	宮田有佳	松村歩美	前田英恵	前川磨希	藤田みゆき		
石井迪子	安中悠子	青柳有一	5組 (39名)	米山賢太郎	山口日向子	山口愛	南百合子	水落伸介	増井博美	本間淑之	藤村薫	羽田卓望	南波秀明	中村綾香	中野一平	中沢優佳	土田雅子	月岡良一	塚田晋平	俵木達壘	田宮健太郎	武田哲樹	関原あゆみ	鈴木良輔	白井依子	佐野千秋		
長谷川玲子	南波麻弓	南木裕	土屋祐介	田中一達	田代亮太	高橋勇太	高橋麻美	杉山康二	清水裕之	佐藤千晶	笹口亮介	加勢博康	笠井麻衣	大滝智裕	大井智美	遠藤泰規	伊藤泰規	池田智哉	6組 (40名)	横木健一	山坂恵美	武藤翠	廣井薫子	日野有子	樋口由美子	原田麻理子	花岡愛	
稲越裕美	石附麻由美	石川実季	荒井紫織	7組 (38名)	吉原慎太郎	山田佑哉	三膳利光	宮崎芳史	宮尾陽平	本間佳恵	本間幾子	星山久美	星野真寛	藤沢右佳	福井綾	平沢健太郎	長谷川和也	長谷川陽帆	登坂絢子	武田将幸	竹内絵理子	高橋陽子	高橋志織	高橋香代	鈴木真歩	下山将貴		
林美矢子	羽尾直仁	中原広樹	豊島美奈江	土田泰子	土田美紀	塚野聡仁	塚田文吉	田村匠	田村修一	田中純也	高橋論史	高野哲也	高木拓也	関谷恵太	島川紗依子	信田匡康	佐藤麻衣子	近藤亮太	工東健司	8組 (39名)	久須美麻里	串宮範彦	鬼島芳	片柳えり子	折笠啓一郎	小畑侑	大滝由佳	江口麻由
瀬野恵里佳	関川雅隆	須貝健太郎	篠崎佑隆	紫竹佑騎	佐藤将太	佐藤晃大	櫻井啓太	坂爪博行	齋藤直美	小林淳士	木村佐和子	金子華江	加藤真嗣	岩沢裕介	伊藤和音	石原弘大	石黒亮	石川洸	阿部圭悟	8組 (39名)	渡邊祐介	鷺山厚子	若月良允	三浦慧太	本田広幸	保苺昌彦		

板垣博之	石山未悠宇	石澤美穂子	池田織絵	荒木美香	阿部佑美	安倍麻記	9組 (43名)	渡邊大地	渡部耕史	和田卓真	吉崎亮太	山中修一	山崎由美	八木歩	元木万里子	皆川隆志	水本純弥	本多玲奈	本田謙一郎	広野ゆう子	服部大祐	中山峻	中川瑠璃子	塚田由佳	竹内祥	高橋祐子	
丸山敦史	本間元樹	星野祐樹	根布屋悟	出口雅一	霧間裕昭	千田祐資	田原航司	田中健太郎	高野浩太朗	佐山恭子	佐藤亮太	佐藤祐太	佐藤碧	佐々木和華子	坂井拓郎	齋藤雄三	近藤勝耶	近藤雄大	小林慧	小林明日葉	小菅良子	小島愛子	小坂井康憲	國松涉	奥村遥	稲田敦	市橋寛基
坂井将之	今野浩孝	近藤直子	小山洋平	小林みなみ	小林未央	小林千紗	小沼信	亀貝貴和	金田哲郎	大島勇気	遠藤ゆかり	上田学	稲月健介	石山静香	石橋佳恵	石崎拓郎	池あかね	10組 (42名)	渡邊雄太	米山朋宏	吉水和	山本遼	山本貴史	目黒悠	宮前新	皆川優納	

島田達也	5組 (2名)	早川瑤子	高杉龍司	風間慧史	3組 (3名)	野口梢	井端由衣	伊丹浩之	2組 (3名)	山崎闘流	早川恭世	石原慎一	1組 (3名)	平成一十六年卒 全日制55回	御芳名(敬称略)	竹内葵	高橋聖奈	高橋俊英	鈴木涼平	鈴木祥之	進藤佳南子	佐藤愛	櫻井理恵
------	---------	------	------	------	---------	-----	------	------	---------	------	------	------	---------	-------------------	----------	-----	------	------	------	------	-------	-----	------

桑野真理子	7組 (3名)	石井治彦	島田健太朗	鈴木浩太	阿部一樹	10組 (3名)	丸谷未来	三浦里奈	吉田真澄	丸谷未来	倉田寛子	倉田寛子	白井寛子	9組 (3名)	近藤みゆき	8組 (2名)	渡邊真吾	渡邊真吾	四柳宏基	吉田有輔	山崎博子	山賀順一	宮下真梨子	宮井恵美	知花真菜美	長井卓也	中澤宗太	中條拓実	梨本祐樹	浜田知幸	廣木祐一	松尾篤
-------	---------	------	-------	------	------	----------	------	------	------	------	------	------	------	---------	-------	---------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	------	------	-----

**平成十五年度
会費納入状況**

◎終身会費

全日制51回生 1名
五、〇〇〇円

全日制54回生 15名
七四、〇〇〇円

会務報告

◎入会金
本年入学者 423名
四三、〇〇〇円

◎年會費
全日制55回生 24名
二四、〇〇〇円

◎合計
二、四〇六、〇〇〇円

(一) 総会
平成15・10・22(水) 18:30 於 イタリヤ軒

(二) 常任委員会
平成16・6・28(月) 18:30 於 ホテル新潟
平成15年度同窓会総会に向けて協議

平成16・9・17(金) 18:30 於 ホテル新潟
平成15年度同窓会総会に向けて協議

(三) 正副会長会議
平成15・10・9(木) 18:30 於 学校役員室
同窓会総会運営について協議

平成15・12・25(木) 18:30 於 割烹 網元
同窓会総会についての反省会

平成16・2・19(木) 18:00 於 新潟東急イン
同窓会歓迎会及び卒業式について協議

平成16・6・1(火) 17:30 於 新潟東急イン
常任委員会開催について協議

平成16・8・30(月) 18:00 於 割烹 網元
常任委員会開催及び同窓会総会開催について協議

二、その他
平成15・11・15(土) 13:00 於 銀座日航ホテル
首都圏新潟明訓会総会・懇親会が開催され、児島・浮部副会長、時田監事の3名出席

平成16・2・19(木) 18:30 於 新潟東急イン
学校の同窓会担当教職員との懇談会

平成16・6・1(火) 19:30 於 新潟東急イン
新・旧校長先生との懇談会